

# 令和7年度 群馬県立赤城特別支援学校グランドデザイン

校訓（理念）

学ぼう 明るく なかよく 元気よく

ビジョン（使命）

群馬県全体の病弱・虚弱の児童生徒の教育の充実

学校教育目標

児童生徒一人一人が、自己を大切にするとともに、自立と社会参加を目指して自ら学び、好ましい人間関係の中で明るく元気に明日へ向かって生きる豊かな人間性を身に付ける

日本国憲法 教育基本法  
学校教育法 学習指導要領 等

群馬県教育ビジョン  
(第4期群馬県教育振興基本計画)  
第3期群馬県特別支援教育推進計画

## 目指す学校像

- ・病気があっても、入院していても学び続けることができる
- ・リスクを管理し、自分や仲間を信じてチャレンジできる
- ・県内唯一の病弱教育のセンターとして使命を果たすことができる

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

学びに向かう力  
人間性等

## 目指す教師像

- ・児童生徒にとってよりよい指導・支援のために協働する
- ・教育ニーズや状況の変化に柔軟に対応する
- ・教育公務員としての高い自覚をもって行動する

何を理解しているか  
何ができるか

知識・技能

## 目指す児童生徒像

- ・自分の体と心を大切にする
- ・自ら学び、考え、行動する
- ・よりよく生きようと互いに協力する

理解していること、できることをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

## 育成を目指す資質・能力の3つの柱

### ● 目の前にいる児童生徒のために、個々に応じたより良い学習環境を整える

- ・医療機関、前籍校、保護者との情報交換を丁寧かつ適切に行い、「児童生徒にとってより良い指導・支援は何か」を常に考え、すべての職員が協働する。
- 児童生徒が楽しく主体的に学べる教育を実践する
  - ・ICTの効果的な活用や少人数指導の利点を生かした個別最適な学びをとおして児童生徒の「何だろう?」「どうして?」を引き出し、「分かった!」「できた!」を積み重ねることで、一人一人の可能性を伸ばす。
- 児童生徒の考える力を育て、社会性を磨くために、「つながる経験(児童生徒同士、職員・地域等)」を大切にする
  - ・外部人材やICT等を積極的・効果的に活用し、生活に制限がある仲にあっても児童生徒が経験を広げ、社会性を磨くことができる機会を増やす。
  - ・赤城特別支援学校の教場間、居住地校、地域との交流を積極的に実施する。
- 児童生徒及び保護者の心の安定を図り、病気と向き合う気持ちを支える
  - ・児童生徒及び保護者の話を丁寧に聴き、病状や心情に寄り添った支援を行うことで、自己肯定感を高め、病気を受け止め前向きに生きようとする気持ちを育てる。
  - ・「自立活動の時間における指導」を中心に、教育活動全体で自立活動との関連性を意識した指導を実践することで、個別最適な学びのための基盤を整える。
- 感染症や災害等への対策に万全を期し、児童生徒の安全を確保する
  - ・すべての職員が、医療機関の助言やエビデンスを参考に作成した感染症拡大防止のための対応方針を理解し、取組の徹底に努める。
  - ・関係機関と連携して防災等の各種訓練を定期的実施し、不断に見直すことで、職員一人一人はもちろん、組織としての危機への対応力を高める。

○自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会の実現

(群馬県教育ビジョンより抜粋)

- 変化への柔軟かつ適切な対応
- 学部・教場を超えた連携・協力
- 医療機関等との連携の強化
- 職員の心身の健康維持
- 専門性の向上と職能成長
- 服務規律の確保の徹底

教育方針

経営の重点